

MACF礼拝説教

2021/08/08

「主の祈り」について

マタイによる福音書

6:9 だから、こう祈りなさい。『天におられるわたしたちの父よ、御名が崇められますように。

6:10 御国が来ますように。御心が行われますように、天におけるように地の上にも。

6:11 わたしたちに必要な糧を今日与えてください。

6:12 わたしたちの負い目を赦してください、わたしたちも自分に負い目のある人を赦しましたように。

6:13 わたしたちを誘惑に遭わせず、悪い者から救ってください。』

イエス様はこの祈りを弟子たちに教えました。

父なる神様に向けて、弟子たちが、あるいはキリスト者集団が複数人で心を合わせて祈るための言葉として教えたものです。

天におられる私たちの父なる神様、と教えられている通りです。

もちろん個人で祈って良いのです。でも、キリスト者がどこの国の人でも、別々の場所においても心を合わせて同じ神様に祈っているという、共有意識、共同体意識を確かなものとするためにとても重要な祈りなのです。

私たちが思い悩み、行き詰まりを感じている時、心から絞り出すように祈って見てほしい祈り、それが主の祈りです。

その内容は

御名が聖とされますように

御国が来ますように

地にも行われますように、

糧を与えてください

誘惑に陥らせず、悪からお救いください。

という願い事が中心です。

それはイエス様の心にいつもあった祈りでもあったと思います。

だからこそ、その祈り、その姿勢と告白を弟子たちに残したかったのだと思います。

さて、

私たちは、毎回毎回、この祈りをささげ、願い事を申し上げているわけですが、実は私たちの天の父は私たちの願い事を繰り返し聞きたいと思っておられるわけではないと思います。

むしろ、その願いに応え、事を起こすお方であることを示したいのだと思います。こういう聖句があります。ヨハネの手紙第一5章

13 神の子の名を信じているあなたがたに、これらのことを書き送るのは、永遠の命を得ていることを悟らせたいからです。

14 何事でも神の御心に適うことをわたしたちが願うなら、神は聞き入れてくださる。これ

が神に対するわたしたちの確信です。

15 わたしたちは、願い事は何でも聞き入れてくださるということが分かるなら、神に願ったことは既になえられていることも分かります。

私たちが主の祈りを祈る時、ぜひ覚えておきたいことがあります。神は祈りに応えてくださるということ。つまり、
御名が聖とされますように
御国が来ますように
地にも行われますように、
糧を与えてください
誘惑に陥らせず、悪からお救いください。

と祈った内容ひとつひとつについて神様は必ず応えてくださると信じて祈るのです。

御名が聖とされますように。
御名が聖とされ、あがめられると信じます

御国が来ますように
御国が来ます。聖霊による解放と喜びと平和がもたらされると信じます。
地にも行われますように、
今、私の生きているこの地にも行われると信じます。
日ごとの糧をお与えください
日ごとの糧、必要物は与えられると信じます。
罪をお赦しください
キリストの十字架の贖いとなだめのおかげで、罪は赦されると信じ感謝します。
誘惑に陥らせず、悪からお救いください。
お救いくださると信じて今日を進みます。
と、信じて祈るのです。

この祈りが私たちの信仰告白となるとき、私たちは、この祈りから勇気と希望を受け取ることができるのです。もはや、形式だけの祈りではなくなります。

あなたにとって主の祈りは信仰の告白とその体験につながっていますか？それとも、伝統的な形式文ですか？

形式だけの祈りにしておくのはあまりにもったいないです。

この祈りはきっと。私たちの日々の生活の力となり励ましとなります。

もう一度、信仰の告白の心を込めて、主の祈りをいのりましょう。

なりますように、は、なると信じましょう。ください、はくださいます、と信じて祈りを捧げましょう。

その信仰の祈りの共有こそ、私たちの宝です。

「MACF礼拝映像」はこちらです。

<https://youtu.be/HdHeob5GEe0>